

平成27年 死亡災害発生状況

業 種	年 別		平成27年		平成26年		増減数	
製 造 業	7	(0)	10	(2)	-3	-2		
食 料 品 製 造 業	2	(0)	2	(1)	0	-1		
織 維 製 品 製 造 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
木 材 ・ 木 製 品 ・ 家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
パ ル プ ・ 紙 加 工 品 等 製 造 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
印 刷 ・ 製 本 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
化 学 工 業	3	(0)	0	(0)	3	0		
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	0	(0)	3	(0)	-3	0		
鉄 鋼 業	1	(0)	0	(0)	1			
非 鉄 金 属 製 造 業	0	(0)	1	(1)	-1	-1		
金 属 製 品 製 造 業	1	(0)	2	(0)	-1	0		
一 般 ・ 電 気 ・ 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	0	(0)	2	(0)	-2	0		
電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
そ の 他 の 製 造 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
鉱 業	0	0	0	0	0	0		
建 設 業	13	(2)	12	(4)	1	-2		
土 木 工 事 業	6	(0)	3	(1)	3	-1		
建 築 工 事 業	6	(1)	6	(2)	0	-1		
木 造 等 家 屋 建 設 業	0	0	0	0	0	0		
そ の 他 の 建 設 業	1	(1)	3	(1)	-2			
運 輸 交 通 業	8	(6)	6	(4)	2	2		
道 路 旅 客 運 送 業	1	(1)	0	(0)	1	1		
ハ イ ヤ ー ・ タ ク シ ー 業	1	(1)	0	(0)	1	1		
バ ス 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
道 路 貨 物 運 送 業	7	(5)	6	(4)	1	1		
貨 物 取 扱 業	2	(0)	1	(0)	1	0		
陸 上 貨 物 取 扱 業	2	(0)	1	(0)	1	0		
港 湾 運 送 事 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
農 業 ・ 水 産 業 ・ 畜 産 業	1	(0)	1	(0)	0	0		
林 業	0	(0)	3	(0)	-3	0		
第 三 次 産 業	5	(3)	10	(6)	-5	-3		
商 業	3	(3)	4	(2)	-1	1		
卸 売 業			0	(0)				
小 売 業	2	(2)	4	(2)	-2			
上 記 以 外 の 商 業	1	(1)	0	(0)	1	1		
保 健 衛 生 業	0	(0)	2	(1)	-2	-1		
医 療 保 健 業	0	(0)	1	(0)	-1	0		
社 会 福 祉 施 設 業	0	(0)	1	(1)	-1	-1		
接 客 娯 楽 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
飲 食 店	0	(0)	0	(0)	0	0		
清 掃 ・ と 畜 業	0	(0)	2	(1)	-2	-1		
ピ ル メ ン テ ナ ン ス 業	0	(0)	1	(1)	-1	-1		
上 記 以 外 の 清 掃 ・ と 畜 業	0	(0)	1	(0)	-1	0		
そ の 他 の 事 業	2	(0)	2	(2)	0	-2		
警 備 業	2	(0)	1	(1)	1	-1		
上 記 以 外 の そ の 他 の 事 業	0	(0)	1	(1)	-1	-1		
上 記 以 外 の 第 三 次 産 業	0	(0)	0	(0)	0	0		
全 産 業 計	36	(11)	43	(16)	-7	-5		

[参考]

全 国	972	(194)	1,057	(234)	-85	-40
九 州 ・ 沖 縄	98	(27)	125	(28)	-27	-1

(注) 1 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計による(労働者死傷病報告の集計値とは異なる。)

2 破線の右欄は内数で交通事故を表す。

3 中分類は非表示のものがあり、大分類の内数であること。

平成27年 月別死亡災害発生状況

業種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年値	増減数
製造業	1	2						1	1		2		7	10 (2)	-3 -2
建設業	2	1 (1)	1	2	2	2			2	1 (1)			13 (2)	12 (4)	1 -2
土木工事業	2		1		1	1			1				6	3 (1)	3 -1
建築工事業		1 (1)		2	1	1			1				6 (1)	6 (2)	-1
その他の建設業										1 (1)			1 (1)	3 (1)	-2
運輸交通業	3 (3)					1			1 (1)	1		2 (2)	8 (6)	6 (4)	2 2
道路貨物運送業	2 (2)					1			1 (1)	1		2 (2)	7 (5)	6 (4)	1 1
貨物取扱業					1							1	2	1	1
農業・水産業・畜産業	1												1	1	
林業														3	-3
第三次産業			2 (1)				1				1 (1)	1 (1)	5 (3)	10 (6)	-5 -3
商			1 (1)								1 (1)	1 (1)	3 (3)	4 (2)	-1 1
卸売業															
小売業			1 (1)									1 (1)	2 (2)	4 (2)	-2
通信業															
保健衛生業														2 (1)	-2 -1
医療保健業														1	-1
社会福祉施設業														1 (1)	-1 -1
接客娯楽業															
飲食店															
清掃・と畜業														2 (1)	-2 -1
ビルメンテナンス業														1 (1)	-1 -1
上記以外の清掃・と畜業														1	-1
その他の事業			1				1						2	2 (2)	-2
警備業			1				1						2	1 (1)	1 -1
上記以外のその他の事業														1 (1)	-1 -1
上記以外の第三次産業															
全産業計	7 (3)	3 (1)	3 (1)	2	3	3	1	1	4 (1)	2 (1)	3	4 (3)	36 (11)	43 (16)	-7 -5

前年値	2 (1)	4 (3)	3 (2)	4 (2)	5 (1)	3 (1)	5 (2)	1 (1)	5 (2)		3 (1)	8	43 (16)		
増減数	5	2 -1 -2	-1 -2 -2 -2 -1	-1 -2 -2	-1	-1	-4 -2	-1 -1 -1	2	1		-4	3	-7 -5	

(注)1 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計(労働者死傷病報告の集計値とは異なる)である。

2 死亡災害の右欄は内数で交通事故を表す。

平成27年 署別死亡災害発生状況

業種	署名												合計	前年値	増減数									
	福岡中央	大牟田	久留米	飯塚	北九州西	北九州東	門司	田川	直方	行橋	八女	福岡東												
製造業		1		1	4			1					7	10	(2)	-3	-2							
建設業	4	(1)	2		2	(1)			1	1	1	2	13	(2)	12	(4)	1	-2						
土木工事業	2		1						1		1	1	6		3	(1)	3	-1						
建築工事業	2	(1)	1		1					1		1	6	(1)	6	(2)		-1						
その他の建設業					1	(1)							1	(1)	3	(1)		-2						
運輸交通業	1	(1)	3	(2)		1	(1)	1			1	(1)	1	(1)	8	(6)	6	(4)	2	2				
道路貨物運送業	1	(1)	2	(1)		1	(1)	1			1	(1)	1	(1)	7	(5)	6	(4)	1	1				
貨物取扱業	1												2		1				1					
農業・水産業・畜産業													1		1									
林業															3					-3				
第三次産業	2	(2)			1	2	(1)						5	(3)	10	(6)	-5	-3						
商業	2	(2)				1	(1)						3	(3)	4	(2)	-1	1						
卸売業																								
小売業	1	(1)				1	(1)						2	(2)	4	(2)				-2				
通信業																								
保健衛生業															2	(1)				-2	-1			
医療保健業															1						-1			
社会福祉施設業															1	(1)					-1	-1		
接客娯楽業																								
飲食店																								
清掃・と畜業															2	(1)					-2	-1		
ビルメンテナンス業															1	(1)					-1	-1		
上記以外の清掃・と畜業															1							-1		
その他の事業					1	1							2		2	(2)						-2		
警備業					1	1							2		1	(1)						1	-1	
上記以外のその他の事業															1	(1)						-1	-1	
上記以外の第三次産業																								
全産業計	8	(4)	1	5	(2)	1	7	(1)	3	(2)		2	1	1	2	(1)	5	(1)	36	(11)	43	(16)	-7	-5

前年値	12	(5)	2	1	(1)	5	(1)	5	(4)	3	(2)	2	1	4	(2)	2	6	(1)	43	(16)
増減数	-4	-1	1	3	2	-1	2	-2	-2	-3	-2			-3	-2	1	-1		-7	-5

(注) 1 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計(労働者死傷病報告の集計値とは異なる)である。

2 死亡災害の右欄は内数で交通事故を表す。

平成27年 事故の型別死亡災害発生状況

業種	事故の型																			合計			
	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ・	こ切すれ・	踏み抜き	おぼれ	物高との接	高温・低温の	有害物と	感電	爆発	破裂	火災	「交通道路事	「交通その他		無作理のな	その他	分類不能
製造業		1					5				1												7
建設業	2			2	2	1	3											2				1	13
土木工事業				1		1	3															1	6
建築工事業	2			1	2													1					6
木造等家屋建設業																							
その他の建設業																		1					1
運輸交通業				1			1											6					8
道路貨物運送業				1			1											5					7
貨物取扱業					1	1																	2
農業・水産業・畜産業										1													1
林業																							
第三次産業										1	1							3					5
商業																		3					3
卸売業																							
小売業																		2					2
上記以外の商業																		1					1
保健衛生業																							
医療保健業																							
社会福祉施設業																							
接客娯楽業																							
飲食店																							
清掃・と畜業																							
ビルメンテナンス業																							
上記以外の清掃・と畜業																							
その他の事業										1	1												2
警備業										1	1												2
上記以外のその他の事業																							
上記以外の第三次産業																							
全産業計	2	1		3	3	2	9			2	2							11				1	36
前年値	8			3	2	5	5				1							16				3	43
増減数	-6	1			1	-3	4			2	1							-5				-2	-7

(注) 労働基準監督署からの災害報告(災害速報)の集計による(労働者死傷病報告の集計値とは異なる。)



平成27年 死亡災害発生事例（公開用）

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物
1	15:00～ 16:00 (水)	食料品製造業	30～49	10代男	派遣労働者の被災者は、午後3時の休憩後、工場内の作業場所に現れず、事務所付近でドンと音がし、工場敷地内で横倒しとなっていたフォークリフトのヘッドガードと地面との間に、首から後頭部にかけて挟まれているところを発見されたもの。	転倒	フォークリフト
2	17:00～ 18:00 (水)	食料品製造業	10～29	30代男	あめ製造工場内において、被災労働者が機械を使ってあめの塊（重さ約25kg）に香料を練り込む作業を行っていたとき、当該機械の上下動するアームとあめを乗せたテーブルとの間に頭部を挟まれて脳挫傷で死亡したものである。	はさまれ 巻き込まれ	食品加工用機械
3	19:00～ 20:00 (木)	化学工業	100～299	40代男	フィルム加工機械で加工していたフィルムが排出側で詰まり、非常停止がかかったことから、詰まったフィルムの除去等復旧作業のため、被災者がスライサーアームの下方に立ち入って作業していたところ、共同作業者の1人が非常停止を解除する操作を行ったために、当該アームが原点復帰しようとして被災者の上に降りてきて、挟まれたもの。	はさまれ 巻き込まれ	ロール機
4	19:00～ 20:00 (木)	化学工業	10～29	50代男	扉を開けると運転が停止されるリミッターが設置されていたものの、安全装置が機能しないようにしてプラスチックシート成型機を運転中、製品の仕上がり具合を見るため、成型機の内部に頭部を入れて確認していたところ、上下するスライド（上型を固定するプレート）とガイドカバー（チェーンのカバー）との間に頭部を挟まれたもの。	はさまれ 巻き込まれ	一般動力機械
5	9:00～ 10:00 (土)	化学工業	30～49	20代男	肥料製造工程において、上部3箇所の特検口（50.5×35.7cm×3箇所）が設置してある混練機の稼働中、原料装入口側の点検口では原料の粉じんにより水分の添加量を確できなかったため、中央部分の特検口に設置していた集じん用フードを原料装入口側の点検口側に移動させようとした時、中央部の点検口から落下し、混練機のスクリーに巻き込まれたもの。	はさまれ 巻き込まれ	一般動力機械
6	19:00～ 20:00 (日)	製鉄・製鋼・圧延業	100～299	20代男	被災者は、詰所に溜まっていた一般ゴミを二輪車に乗せて脱硫場に運び、約350のスラグが入った鍋（地上からの高さ約1.6m）に投入して燃やすため、操作室にいる同僚へ要請してこの鍋を移動させ、その後、被災者から操作室の同僚に「助けて」と連絡があり、駆け付けたところ、鍋の近くの通話器の横で倒れていた被災者が発見されたもの。	高温・低温の物との接触	その他の装置・設備
7	6:00～ 7:00 (木)	金属製品製造業	300～499	50代男	レールを切断する鋸断機のカバーを開けて鋸断機とカバーの間に立っていたところ、鋸断機横の台車（自動運転）が動き出してカバーを押し、鋸断機とカバーの間に全身をはさまれたもの。	はさまれ 巻き込まれ	金属加工用機械

平成27年 死亡災害発生事例（公開用）

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢 性別	災害発生状況	事故の型	起因物
8	15:00～ 16:00 (金)	土木工事業	1～9	50代 男	林道建設工事現場において、被災者が単独で走行集材機械（フォワーダ）を操作して伐木した原木を荷台へ積み込んでいたところ、操作盤上のバーとブームの間に頭部をはさまれ死亡したものの。	はさまれ 巻き込まれ	走行 集材機械
9	10:00～ 11:00 (月)	土木工事業	1～9	60代 男	水路付替工事において、大型ブレーカにより既設水路の解体及び土止め支保工の設置を行っていたところ、水路内で解体位置にブレーカを誘導していた被災者が、土止め支保工部材とブレーカとの間にはさまれ被災したものの。	はさまれ 巻き込まれ	解体用 機械
10	15:00～ 16:00 (月)	土木工事業	50～99	52 男	被災者は、受注した法面工事の作業所で現場代理人との打ち合わせ後、ライトバンに単独で乗り次の目的地に向かう途中、嘔吐、意識不明の状態で見発見されたもので、発症前5箇月を平均して月80時間を超える時間外労働が過負荷となって、脳血管疾患を発症したものの。	分類不能	分類不能
11	13:00～ 14:00 (木)	土木工事業	1～9	60代 男	傾斜のある河川敷においてドラグショベルを移動式クレーンとして使用し、4tトラックに土嚢の入ったフレコンバック（800kg/個）を積み込む作業中、5個目のフレコンバックを積み込んだ時、トラックが傾斜によりバックし、トラックの荷台で玉はずし作業を行っていた作業員（運転手）がドラグショベルのバケットとトラックのキャブの間に挟まれ被災したものの。	はさまれ 巻き込まれ	トラック
12	9:00～ 10:00 (月)	土木工事業	10～29	50代 男	工事現場内で土留め用のシートパイルを設置するためのケーシング（360mm、長さ11m、3.1t）を移動式クレーン（70t）で運搬するため、ハッカーで2箇所玉掛けし、約1.5m吊り上げたところ、ケーシングが縦ふれし、玉掛け用具が外れ、ケーシングの近くにいた被災者の右足に落下したものの。	飛来 落下	玉掛用具
13	13:00～ 14:00 (金)	土木工事業	1～9	40代 男	道路に隣接する個人宅の石垣が崩壊する危険性があったため、機体重量5tのドラグショベルとつり上げ荷重2.5tの移動式クレーンを用いて、既存の岩を取り外し、組み直す作業を行っていた際、石垣裏の土砂を同僚がドラグショベルのバケットですくう右旋回したところ、被災者が旋回範囲である石垣の上にはいたため、当該バケットに跳ね飛ばされ、2.15m下の地上に激突したものの。	激突され	掘削用機械
14	6:00～ 7:00 (水)	建築工事業	30～49	20代 男	仮設現場事務所に向かうため、乗用車を運転し、高速自動車道を走行中、後続車両（大型トラック）に追突されたものの。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク
15	10:00～ 11:00 (土)	建築工事業	1～9	60代 男	建築中の建屋側の駐車場予定地において、汚水管埋設作業のため、被災者は、幅約70cm、深さ1.5mの掘削された箇所に入り、同配管の取付作業を行っていたところ、掘削した箇所の側面が崩落し、生き埋めとなったものの。	崩壊 倒壊	地山 岩石

平成27年 死亡災害発生事例（公開用）

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物
16	11:00～ 12:00 (土)	建築工事業	1～9	20代 男	6階建てビル解体工事現場において、解体ガラを搬出するための開口部を設けるため、既設エレベーターの撤去を行おうとして、被災者が、1階部分に停止している状態の搬器上で巻上げ用ワイヤーロープ端部の取付け金具（ロッド：6本）をガス溶断した際、搬器が数十センチ落下したことによりバランスを崩し、カウンターウェイト側に墜落、落下してきたカウンターウェイトの下敷きとなったもの。	飛来 落下	エレベーター リフト
17	16:00～ 17:00 (金)	建築工事業	1～9	70代 女	木造2階建ての解体工事現場において、車両系建設機械（解体用つかみ機）を使用して解体作業中、被災者が、当該重機の右側方で解体後の破片等を袋詰めしていたところ、隣地境界のブロック塀が倒壊し、被災者の後方から覆いかぶさり下敷きになったもの。	崩壊 倒壊	仮設物 建築物 構築物
18	18:00～ 19:00 (木)	建築工事業	10～29	60代 男	5階建て共同住宅の屋上において、雨漏り箇所の目視確認作業中、屋上から墜落したもの。	墜落 転落	仮設物 建築物 構築物
19	12:00～ 13:00 (水)	建築工事業	1～9	60代 男	台風で穴の開いた屋根の補修作業を行うため、鉄骨スレート葺きの工場の屋根の上を移動していたところ、木製の根太（4cm×8cm）が折れ、スレートを踏み抜き、約5m下の地上に墜落したもの。	墜落 転落	屋根、はり、もや、けた、合掌
20	6:00～ 7:00 (月)	その他の建設業	10～29	30代 男	軽乗用車、25t移動式クレーン及び小型移動式クレーンの3台で現場に向かう途中、港湾道路の路肩に3台の車両を停車させ、同僚と作業の打ち合わせをした後、各車両の運転席に戻ろうとした際、最後尾に停車していた小型移動式クレーンに4tトラックが追突し、その弾みで、被災者が、小型移動式クレーンとその前に止まっていた移動式クレーンとの間に挟まれたもの。	交通事故 (道路)	トラック
21	1:00～ 2:00 (土)	道路旅客運送業	50～99	60代 男	被災者は、タクシーを運転して高速道路を走行中、ジャンクション付近で右側へ車線変更したところ、後方を走行していたトラック（2t車）に追突されたもの。	交通事故 (道路)	トラック
22	7:00～ 8:00 (木)	道路貨物運送業	50～99	60代 男	仮設材輸送の為、車両積載型トラッククレーン（4t車）で午前5時に出庫し、高速道路走行中、インターチェンジの手前約2kmの地点から道路左側の路肩およびガードレールに衝突した後、インターチェンジ出口のガードレールに衝突したもの。	交通事故 (道路)	トラック
23	0:00～ 1:00 (水)	道路貨物運送業	1～9	30代 男	国道の交差点で、交差点を直進していたトラック（4トン：保冷車）と対向車線から右折の普通乗用車が接触、トラックが横転し、ドライバーが全身を強く打ったもの。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク



平成27年 死亡災害発生事例（公開用）

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物
24	14:00～ 15:00 (水)	道路貨物運 送業	1～9	50代 男	荷積み先工場内において、構内下請け労働者の運転するフォークリフトにより、橋桁コンクリートブロック用型枠（1枚当たり重量約250kg）を6枚重ねでトラックに荷積みしていた際、積んだ型枠が荷台からはみ出ていたため、位置を修正しようと再度型枠をフォークリフトで持上げたところ、上部の1枚が荷台からフォークリフトと反対側に滑落し、トラック運転者である被災者が滑落した型枠で胸部を強打したものの。	飛来 落下	荷
25	12:00～ 13:00 (土)	道路貨物運 送業	10～29	40代 男	事故発生の前日23:00に事業所で点呼の後、近隣の客先にて雑貨を4トントラックに積み、高速自動車道を利用して宮崎県宮崎市の届先で荷を降ろした後、別の荷物（プラスチックロール、翌々日に福岡県内の届先に搬入予定）を積み、帰途している際、橋梁の欄干を越え、約10m下の河川に転落したものの。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク
26	15:00～ 16:00 (金)	道路貨物運 送業	10～29	50代 男	産業用ロボットを使ってセメント袋を所定場所に積み重ねる作業を監視していた被災者が、コンベアから送られてきた破れたセメント袋を取り除こうとして、稼働中の当該ロボットアームに首を挟まれたものの。	はさまれ 巻き込まれ	産業用 ロボット
27	7:00～ 8:00 (木)	道路貨物運 送業	10～29	60代 男	被災者は、事故発生の前々日の午後に、筑後から関西方面に商品を運送、荷卸した後、別のところで荷を積んで戻る途中、被災者が運転するトラックが、中央分離帯にある高架道路の支柱に衝突し、全身を強く打ったものの。	交通事故 (道路)	トラック
28	11:00～ 12:00 (火)	道路貨物運 送業	10～29	50代 男	高速道路の路肩で、工具箱を後輪側に置いて停車していた大型トラックに、中型トラックが追突し、車外にいた大型トラックの運転手である被災者がはねられたものの。	交通事故 (道路)	トラック
29	15:00～ 16:00 (月)	陸上貨物取 扱業	1～9	50代 男	港ふ頭にある倉庫内において、同僚4名と鉄板の荷降しを行うため、被災者と同僚2名がりん木を置き位置調整していたところ、被災者の背後の壁に立てかけられていた約1tのパーインコイル（径22mmのコイルを1.2m程の径に巻いたもの）が被災者の上に倒れ、下敷きとなったものの。	崩壊 倒壊	荷
30	8:00～ 9:00 (金)	陸上貨物取 扱業	1～9	70代 男	被災者は、隣接の冷蔵倉庫会社の冷蔵庫に保管してある商品を受け取るため、同社に書類を提出して、元の作業場所に戻ろうとした際、傾斜している駐車場に駐車して、運転者が乗車していなかった他社の2トン保冷車が動きだし、被災者に激突したものの。	激突され	トラック

平成27年 死亡災害発生事例（公開用）

番号	発生日時 (曜日)	業種	労働者数	年齢性別	災害発生状況	事故の型	起因物
31	12:00～ 13:00 (水)	漁業	1～9	50代 男	被災者は、定置網の箱網交換作業のため、箱網とその外側に設置している固定用ワイヤーロープとをロープにて緊結する作業を海に入って行っていたが、漁船上で金庫網の設置作業を行っていた同僚が海面に浮いている被災者を発見したものの。	おぼれ	水
32	8:00～ 9:00 (火)	小売業	1～9	40代 男	自家用車で自宅から出張先へ向かう途中、道路左側の木に接触後、対向車に接触し、その後、そばの公園に突っ込み、転落防止用の鉄柵を突き破って池に転落したものの。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク
33	4:00～ 5:00 (日)	新聞販売業	10～29	50代 男	脇道から進入した新聞配達中の被災者が運転する原付自転車と、直進していた普通乗用車が、交差点において衝突したものの。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク
34	18:00～ 19:00 (水)	その他の商業	1～9	50代 男	三輪バイクでチラシ配布作業中、転倒し頭部を強打し、頭部の急性硬膜下血腫にて死亡したところを発見され、詳細は不明。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク
35	0:00～ 1:00 (木)	警備業	100～299	60代 男	被災者は、港の警備に就き、2時間毎に定時報告を入れていたが、無線及び携帯電話を呼び出しても応答がなかったため、巡回警備員を現地へ向かわせたものの発見できず、その後、現場から約4km東の海上で発見されたもの。	交通事故 (道路)	乗用車 バス バイク
36	17:00～ 18:00 (水)	警備業	50～99	40代 男	被災者は、交通警備に従事後会社に戻り、会社から自転車で帰宅した。その後、居宅アパート敷地内の植栽に制服姿で倒れているところを通行人が発見し、午後6時50分ごろ病院に運ばれたが、午後8時54分死亡したものの。	高温・低温の物との接触	高温・低温環境